

角塚古墳(岩手県奥州市)

つのづか

ここは角塚古墳公園



埴輪のモニュメントが点在する模擬円墳もあった



説明板の右手前方に角塚古墳が見える

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



説明板/日本最北端の前方後円墳と云う/この古墳の被葬者は、いわゆるエミシの祖先なのか、あるいはヤマトタケル伝説にあるように、その時代に東北地方を支配下に収めようとヤマト王権によって東国から派遣された武人集団が、この地に土着して豪族となり、その首長が葬られたのであろうか

国指定史跡

角塚古墳

一、所在地

岩手県奥州市胆沢区南都田字塚田

二、国指定年月日

昭和六十年三月二十二日

三、概要

角塚古墳（通称塚の山）は、墳丘部の発掘調査が行われていないため、内部構造は不明ですが、昭和四十九・五十年の範囲確認調査により日本最北の周埴（水堀）・葺石・円筒埴輪・形象埴輪（人物・動物・家型など）をとともなう前方後円墳であることが確認されました。

主軸の長さは、四十三～四十五m。

後円部は直径約二十八m、高さが約四m。

前方部は、北側幅十m、南側幅十五m。

高さは一・五m前後とされています。

この角塚古墳は、五世紀～六世紀初めの築造と推定されこの地域に形成された農耕社会とそこの政治的諸関係を示すもので、東北地方における古墳時代を解明する上で重要な、前方後円墳としては、岩手県唯一の古墳です。

四、注意事項

許可を受けないで、古墳を掘ったり、木を切ったりして指定範囲の現状を変更するようないことがあれば罰せられます。

平成四年三月



奥州市教育委員会

角塚古墳公園の道路の反対側に5世紀～6世紀初め築造の前方後円墳である角塚古墳が所在する/赤線に従って墳丘へと進もう



これは道路を渡って後円部を見たところ/正面に標柱が立っている



その右手で後円部から前方部方向を見たところ



左手が後円部、右手は前方部/西側から見たところ



水田の畦道を進んで前方部へと向かう

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



これは前方部から後円部方向を見たところ



前方部から後円部に登ってみよう



後円部墳頂で、振り返って前方部方向を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



これは古墳公園にあった、角塚古墳にまつわる伝説についての説明板/伝説では、高山掃部長者(たかやまかもんちょうじゃ)の妻が大蛇に変身し、農民を苦しめていたところを小夜姫(さよひめ)がお経の力で退治し、その大蛇の角を埋めたのがこの古墳だといわれているらしい

里を救った如来さま いさわの伝説から

むかし、むかし、あつたどさ。高山掃部というそれはそれはたいそうな長者さまがあつたんだと なにしろ、倉の数なら48もあり、使用人も365人いたというから、とてつもなく大きな長者さまだつたと ところが、この長者の奥様がえらい欲ばりな人で、使用人たちを長い柱を枕に寝かせ、夜が明けるか明けないうちに柱をたたいて起こし、朝ら晩まで働かせたんだと。ある年のこと、天気が悪く米がとれず、腹がへって死ぬ人さえ出たときに、人のいい長者さまが倉の中から米を出して困った人たちを助けたら「あんだ、なんともつたいないことを」と奥様は、かんかんにおこつたそうさ。あまりわめいたものだからのどが乾いた奥様は井戸に行つて水を飲んだ。ところが、井戸の水に写つた顔は 口は耳まで裂けて頭には角が生えた大蛇の姿になっていたんだとさ。もう、狂つた奥様は屋敷に火をつけ、向かいの止々井沼にザンプと入ってしまったそうさ。それからというもの、この大蛇はときどき人里に現れては馬や若い娘をさらっていくようになり、里人たちは恐ろしくて夜もろくろく眠れなくなつてしまつたんだと。そしてついに大蛇は「牛や馬、娘をさらわれなくなつたら、毎年8月15日の夜に、15歳になる娘を差し出せ」と言つたそうさ。そこで里の人たちは松浦の国から小夜という若い娘を買つてきて、生けにえに差し出すことにしたんだと。さあ、いよいよ8月15日の夜、止々井沼のそばには四本の柱を立ててやくらを作り、娘を差し出す準備がすっかりできた。小夜姫は、化粧坂のわき水で身仕度を整えたが、そのとき肌身離さず持っていた金色の如来様を髪の中に入れてんだと。身仕度をした小夜姫はやくらの上に座り、大蛇が現われるのを待つたどさ。そのとき、急に稲妻とともに雨風が吹きまくり、みるみるうちに大蛇が現われた。小夜姫は恐ろしさにも負けず一心にお経を読み、経文を大蛇に投げつけると大蛇の角はバラバラと落ち、大蛇は元の長者の奥様に戻つたんだと。大蛇を退治した小夜姫は生まれ故郷の松浦の国へ帰つていったが、そのとき持つてきた化粧したときのわき水を目の見えないお母さんの目につけると不思議なことに、お母さんの目がパアツと開いたとさ。小夜姫が持つてきた如来さまのおかげでこの里は救われたんだとさ。

どんど、はらい

小夜姫にまつわる地名は今も町内にたくさん残つています。その代表的なのが化粧坂で、今も小夜姫が持つてきたと伝えられる高さ5cmの小さな如来さまが薬師堂にまつられています。そのほか、体を清めたところが垢川、生け替えのやくらを組んだところが四ツ柱、国指定の角塚古墳は大蛇の角を埋めたところという伝説も残っています。

(このシンボルは、この伝説から大蛇の角をイメージして、有田焼で創作したものです)

胆 沢 町



こんな看板もあった

第20回胆沢町民劇場

「小夜姫伝説」

記念すべき第20回は、第4回にも上演され、町劇史上最高の観客を動員した「小夜姫物語」を新たに「小夜姫伝説」と題し舞台を完成させました。

小夜姫が人身御供となり、大蛇から胆沢の地を救ったという涙無くしては語れない物語が。ここ、角塚古墳は小夜姫が討伐した大蛇の角が埋められたと言い伝えられている場所です。

小夜姫が見守っているこの地には、再び大蛇が現れることなく、大きな災いもなく皆さん過ごせるのでしょうかね。

こぼれ話

第20回の記念事業として、この年に初めての町外公演を姉妹都市静岡県大東町（現掛川市）で上演しました。

姉妹都市の皆さんも大粒の涙を流しながら鑑賞しました。



公演日 平成16年2月28・29日
公演場所 胆沢町文化創造センター
町外公演 平成16年3月20日
公演場所 静岡県大東町 大東町文化会館シオーネ
演出・亀井 貢 舞台監督・及川朝美

胆沢町民劇場実行委員会

さて、ここはその近くにある胆沢町文化創造センター内の郷土資料館

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



これは展示されていた角塚古墳の模型



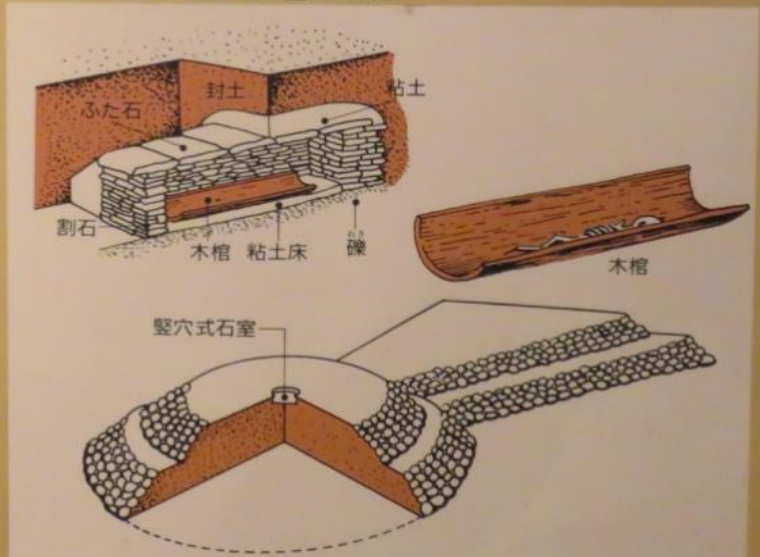
古墳内部の様子

同じく、石室の想定図

胆沢町の角塚古墳はまだ発掘調査は行なわれていませんが、他の地域の前方後円墳の構造から、古墳内部を想像することができます。仙台市の遠見塚古墳（4世紀末～5世紀初頭）の場合は、後円（墳丘）の中央を掘って粘土槨を作り、その中に死体を納めた木棺を入れ、周囲や上部を石や粘土でおおっています。

5世紀末から6世紀初めに築造されたとされる角塚古墳も、やはり同様の竪穴式石室を持った古墳の一つだと考えられます。

●4世紀代の前方後円墳と竪穴式石室



さて、ここは角塚古墳から程近い所に所在する中半入遺跡/角塚古墳を築いた豪族の拠点であったと云う



このエリアにその集落があったのであろうか

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



参考ホームページ

<https://ameblo.jp/fookky/entry-12399906126.html>

<https://ameblo.jp/fookky/entry-12400156298.html>

http://www.thr.mlit.go.jp/isawa/sasala/vol_41/vol41_2fr.htm

<https://massneko.hatenablog.com/entry/2019/01/02/000000>

http://ktrmj15.webcrow.jp/p03iw/tpx131001_2genbi.htm

<http://zvousai.sakura.ne.jp/mysite1/isawa/tunozuka-kofun.html>

<http://precious.road.jp/iwate/tsunozuka.htm>

<http://www.uchinome.jp/mitearuki/2010/mitearuki76.html>

<https://blog.goo.ne.jp/inehapo/e/72d6bd8a034fbc0b5033dd388a7df63>

<https://kofunoheya.blog.fc2.com/blog-entry-46.html>

